

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	積雪及び凍結している傾斜道路において、ストレッチャーで傷病者搬送時に、救急支援隊として出動していた警防隊員が転倒し、他の職員も巻き込まれそうになった事案。
3. 体験した事例の中心的要素	積雪時等、現場自宅が傾斜地にあり車両が直近できず、ストレッチャーで坂道を搬送する必要がある、マンパワー要請。救急支援隊が4名到着し、救急隊3名と救急支援隊4名でストレッチャー(傷病者乗車)及び資器材を搬送途上に、救急支援隊1名が足を滑らせ転倒(負傷なし)。その際に、ストレッチャーを保持(足側)していた救急隊員がつかまれ、転倒に巻き込まれそうになった。(ストレッチャーを保持していた救急隊員が転倒に巻き込まれていれば、傷病者が乗っていたストレッチャーも転倒の可能性があった。)
4. 体験した事例の原因・理由	救急隊は足元に滑り止め器具を装着していたが、救急支援隊にあっては防火衣の長靴だけの者もあり、足元の装備が不十分であった。装備不十分の者がストレッチャー近くで補助していたため、危険が生じた。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成18年2月某日 午前7時頃
2. 発生した当時の天候	雪
3. 発生した活動現場	屋外：積雪等により、路面が滑りやすくなっている傾斜道路
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒、その他：傷病者の落下
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	車両への収容
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[26]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[48]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[30] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	B	ストレッチャーの近くで搬送の補助していた際に、足を滑らせ転倒した。	
経過2	A	ストレッチャーを保持していたAが転倒に巻き込まれそうになった。	
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

足元の安全が確保できていた。 たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	はい

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

積雪と路面凍結の環境下であった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

現場立面図



現場平面図

